

| ナンバリング | 授業科目名 | 単位数 | 学習形態 |
|---|-------|-----|-----------|
| Pr33271A ③ | 保育原理 | 2単位 | レポート・科目試験 |
| 授業のテーマ及び学習成果 | | | |
| <p>保育原理では、保育・幼児教育に携わる者に求められる保育に関する基本的な知識を学び、保育者としての視点を養い、保育・幼児教育の根幹をなす原理を追究する。</p> <p>《学習成果》</p> <p>保育の専門職として、現場保育者にはどのような専門知識や技術が必要とされているのか、どのような想いをもって日々の実践に携わっていくべきなのか、時代背景や子育て家庭の実情を踏まえ、様々な視点からの学びを深める。</p> <p>レポート：・保育所保育に求められてきた保育内容や経緯について学び、論じることができる。 ・保育者の資質向上のための研修制度の目的や内容について学び、その必要性について論じることができる。</p> <p>科目試験：・現場実践における保育計画の必要性について理解する。 ・環境を通じた保育について学び、適切な環境構成の在り方を理解する。 ・わが国の保育改革の歴史について理解を深める。</p> | | | |
| 授業の概要 | | | |
| <p>保育原理では、子どもをとりまく環境を踏まえながら、「保育とは何か」を広い視野から捉えて保育全般を学ぶ。具体的には、保育の意義と目的、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育の基本について理解し、保育者としての資質の在り方に目を向け、保育におけるさまざまな課題に関しての認識を深める。</p> | | | |
| 実務経験の概要 | | | |
| <p>長谷雄一：高等学校5年、栗岡明美：幼稚園33年、小西浩美：幼稚園39年、菅原亜紀：保育所17年、大西由美子：幼稚園33年</p> | | | |
| 授業計画 テキストによる通信授業 | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育とは何か(1) 保育の意義と目的 2. 保育とは何か(2) ①子どもの最善の利益を考慮した保育 ②保育の社会的意義 3. 保育とは何か(3) ①家庭との連携 ②地域との連携 4. 保育所保育指針における保育の基本(1) ①保育の目標と方法 ②養護と教育の一体性 5. 保育所保育指針における保育の基本(2) ①環境による保育 ②発達に応じた保育 6. 保育所保育指針における保育の基本(3) ①保育の計画と評価 ②子どもの健康と安全 7. 保育所保育指針における保育の基本(4) ①子育て支援 ②保育士の専門性 8. 保育の質を高めるための方法(1) 望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う 9. 保育の質を高めるための方法(2) 生活と遊びを通して総合的に行う保育 10. 保育の質を高めるための方法(3) 保育における個と集団への配慮 11. 保育の思想と歴史の変遷(1) 欧米の保育思想の展開と保育施設の発展 12. 保育の思想と歴史の変遷(2) わが国における保育の歴史の変遷 13. 保育の制度(1) ①保育所について ②幼稚園について 14. 保育の制度(2) ①認定こども園について ②家庭的保育事業について 15. 保育の現状と課題 ①日本の保育の現状と課題 ②外国の保育の現状と課題 | | | |
| テキスト | | | |
| <p>「保育原理」(配本テキスト) 「保育所保育指針解説」(最新版)(フレーベル館) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版)(フレーベル館)</p> | | | |
| 参考書・参考資料等 | | | |
| <p>「イラストたっぷりやさしく読み解く保育所保育指針ハンドブック2017告示版」(学研教育みらい)2017 (ISBN:9784058008096)</p> | | | |
| 学生に対する評価 | | | |
| <p>学習状況の確認：レポート課題においての専門知識の理解、獲得及び思考表現により判定し評価する (評価はルーブリック評価を用いる)</p> <p>科目の成績評価：科目試験の結果により判定し評価する (評価はルーブリック評価を用いる)</p> | | | |